

今年の世界禁煙デーのスローガンは「みんなで知ろう！ たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」です。世界では毎年500万人以上の人たばこが原因で亡くなっています。また他人のたばこの煙を周囲の人が吸い込む受動喫煙による死亡者数は、世界全体で毎年60万人に達すると推計され、日本でも厚生労働省の報告では毎年6800人が受動喫煙で死亡しているとされています。

この深刻な事態を解消するため、WHO（世界保健機関）では、世界各国に効果的なたばこ対策をとるよう働きかけています。それが「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約（FCTC）」です。

現在172カ国がこの条約に参加しており、日本も2004年に批准し、05年より発効しています。この条約のおかげで、学校での敷地内禁煙や公的な施設内の禁煙、電車やタクシーなど公共交通機関の禁煙化などが進み、たばこの広告の制限や自動販売機での未成年者への販売の禁止規制強化につながっています。

しかし、まだまだこの条約について知っている人は少なく、今年はぜひ多くの皆さんに、この世界的な取り組みを知っていただき、皆さんと一緒に有害なたばこの煙のない環境作りをいっそう推進したいと思っています。

今年も29日（日）午後1時から倉吉シヨッピンゲセンターパープルタウンで、

世界禁煙デーイベント 29日・倉吉

自分のため家族のため健康のために

5.23

世界禁煙デー関連イベントが鳥取県中部医師会・歯科医師会・薬剤師会中部支部と福祉保健局の主催で開催されます。

中央広場にのぼり旗を掲げ、禁煙支援コーナーでは医師による無料禁煙相談やニコチンパッチ、ニコチンガムの配布、肺年齢のチェック、ニコチン依存度のチェック、展示コーナーでは受動喫煙による健康被害等に関するパネル、標語やポスターの展示、地元シンガー・ソングライター石川達之さんの禁煙ソングの演奏、元氣トリビィも来場します。

中部地区の小中学生から応募のあった世界禁煙デーの標語とポスターも展示され、当日参加された皆さんの投票と主催者による審査で、優秀者には主催者賞が授与され、6月5日の第11回SUN-11N未来ウォークの倉吉パークスクエアの会場で表彰されます。

たばこを吸われる方は相談コーナーでニコチンパッチをもらってみてはいかがでしょう？ 禁煙は自分のため、家族のため、ずっと楽しく生きていくため、健康を見直すきっかけになります。黄色い禁煙スタンプジャンパーを着て、皆さんのお越しをお待ちしております。

松田 隆（鳥取県中部医師会副会長）

問い合わせは電話0858(23)1321、鳥取県中部医師会か電話0858(23)3146、中部福祉保健局健康づくり支援係へ。